



Agricultural Policy

農業からまちをより良く

農業委員会から町へ意見書を提出

7月30日 役場町長室にて

吉野町農業委員会(藪坂会長、川上会長職務代理)が、中井町長に吉野町農業施策等に関する意見書を提出しました。

この意見書は、農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、農地等利用最適化推進施策の改善につながる意見を提出するものです。今回の意見書では、右記の内容の意見・要望があげられました。

耕作放棄地の増加、農業従事者の高齢化・担い手不足、鳥獣被害の拡大等、農業を取り巻く厳しい現状の中、農業者の代表として農地と農業を守り、将来にわたって明るい



◀ 右から川上会長職務代理、藪坂会長、中井町長

展望をもって積極的な農業展開ができるように、直面する課題について中井町長と熱心な議論が交わされました。

今回の意見書の内容

- ①吉野町の農政について
- ②鳥獣害対策について
- ③持続可能な吉野型農業支援について
- ④今後見通される困難打開について



Handcrafted Lanterns

若者の未来を明るく

吉野の素材を生かして

吉野中 友灯工房 7月30日、3年生27名が制作



中学校は建設工事中のため吉野小学校で制作しました。

和紙や木材、割り箸など、吉野ならではの素材を使用して、吉野中学校3年生が、自分だけの灯り作品を制作する「友灯工房」の取り組みは、地元の産業を理解し、郷土に対する愛着と誇りを高めることを目的に、平成14年から続けられています。制作の指導にあたるあかり作家の坂本尚世氏や木育インストラクター橋元美穂氏、材料を提供する地元の方々との交流を通じて、「ふるさと吉野」への、人々の思いにふれる機会にもなっています。作品は、11月に行われる文化発表会において校内で展示される予定です。



素材の特性を生かした作品にするために、工夫を凝らします。



吉野町、天川村、曾爾村を舞台にした芸術祭

マインド トレイル

「MIND TRAIL

奥大和 心のなかの美術館」

を開催します

新たな観光の形態を

昨年も開催したMIND TRAILは吉野、天川、曾爾の3つのエリアを最大5時間かけて歩いてめぐる芸術祭で、吉野は世界遺産を、天川では川と山を、そして曾爾は雄大な自然を自分の足で確かめながら作品を鑑賞できるコースをつくり、多くの方に楽しんでいただきました。



吉野の魅力を再発見

昨年の吉野エリアでは、もともと吉野が観光地として有名な場所であったこともあり、地域の方が吉野の景色の美しさを再発見したり、観光客と地域の皆さんとの交流が活発に行われるなど、この芸術祭をとおして改めて吉野の価値を見出した方も多かったようです。

今年も吉野の魅力を融合した作品が登場

吉野では山や斜面、歴史的建築物を生かした展示工夫を凝らし、ほかのエリアではみられない、ダイナミックで自然と上手に融合した作品の数々が登場します。見慣れている風景が、アーティストや作品によっていつもと少し違った景色に見えるかもしれません。さらなる新しい吉野の一面を、歩きながら探してみませんか。



写真は吉野エリアで展示された昨年の作品

Information on the event

MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館

会期：10月9日[土]～11月28日[日] 会期中無休

会場：【吉野エリア】吉野山

入場料：無料

キュレーター：【吉野エリア】西尾美也

エリア横断型キュレーター：指出一正(ソトコト編集長)

吉野参加アーティスト：

井口皓太、KIKI、菊池宏子+林敬庸、黒川岳、幸田千依、齋藤精一、西尾 美也、力石咲、中崎透、三原聡一郎

プロデューサー：

齋藤精一(株式会社アブストラクトエンジン代表取締役)



天川、曾爾のアーティスト情報やそのほか詳細はウェブサイトをご覧ください。
<https://mindtrail.okuyamato.jp>

岡産業観光課 TEL (39) 9066 (IP直通)